

観光客の視点で考える仙北市観光と田沢湖

奥山加蘭

I. はじめに

秋田県仙北市を構成するエリアは秋田県の東部に位置しており、北部から八幡平・玉川、乳頭、西木、田沢湖高原、田沢湖、角館、抱返りの計7エリアに分けることができる(図1)。春には花見、夏には自然や田沢湖を利用したアクティビティ、秋には紅葉、冬にはスキーや温泉など四季折々の魅力があり、県内でも最大の観光エリアの1つである。なかでも田沢湖と角館は主力観光地であり、1年を通して多くの観光客が訪れる。また1997年には秋田新幹線が開業し、盛岡駅から在来線の田沢湖線と奥羽本線に直通することで秋田県内を結び、2014年には車両がE3系からE6系に置き換えられ、最速3時間37分で東京駅―秋田駅間を結んでいる。これにより都心からのアクセス(1次交通)が便利になったものの、秋田県内の観光地同士の移動が不便だという新幹線開通以前からの2次交通問題が顕著化した。

秋田県の観光に関する既存研究として柴田(2015)では、韓国人観光客を増加させるための取り組みや視点について述べている。その他外国人観光客に向けた観光業の取り組みに関する研究はあるものの、秋田県の観光地に関する研究は例が少ない。

そこで本研究では仙北エリアの田沢湖に焦点を当て、観光地としての田沢湖はどのような特徴があり、県内の観光地としてどのような役割を果たしているのかについて、観光客へのアンケートや行政の声に基づいて考察した。

II. 調査地の概要

調査地の玄関口であるJR田沢湖駅はJR秋田駅から秋田新幹線で1時間1分、奥羽本線及び田沢湖線経由の在来線で1時間45分のところにある。湖畔までは田沢湖駅からのバスでおよそ10分ほどである。湖畔周辺には宿泊施設が多く、乳頭温泉まではバスで約50分というところに位置する(図2)。



図1 秋田県仙北市の観光エリア
仙北市観光協会 HP より

III. 調査方法

今回の調査は以下の方法で行った。

- ・田沢湖エリアでの観光客へのヒアリング調査
- ・宿泊施設に設置した宿泊客へのアンケート
- ・公的機関及び鉄道会社へのヒアリング調査

〈観光客へのヒアリング調査〉

ヒアリング調査は、2017年9月19日～22日に行った。観光客1人1人または団体の一部の観光客に声をかけ調査への協力を依頼し、ヒアリング調査を行った。主な場所は、JR田沢湖駅付近及び田沢湖湖畔バス停付近である(図2)。



III-2 各旅館でのアンケート調査

アンケート調査は9月 図2 調査地の地図 Google Map より作成

けて設置し、一部ヒアリングを行った。調査にご協力いただいた施設は以下のとおりである。

- ・ホテル森の風 田沢湖
- ・田沢湖高原リゾートホテル ニュースカ

III-3 ヒアリング調査

以下の公的機関へのヒアリング調査を行った。

- ・仙北市観光商工部観光課
- ・田沢湖観光協会
- ・秋田県庁秋田県観光文化スポーツ部
観光振興課
- ・JR 東日本 東日本旅客鉄道株式会社
秋田支社

IV. 調査結果

IV-1 仙北エリアの観光客数

秋田県内の主要観光エリアである秋田市、男鹿と仙北市とを比較した観光客数（図3）及び

年間での仙北市の田沢湖・角館における観光客数（図4）を示す。

秋田市は毎年8月3日～6日に東北3大祭りとされる「秋田竿灯まつり」が行われており、多くの観光客でにぎわうことから、8月の観光客数は非常に多くなっている（図3）。また4月には角館で桜が見ごろを迎え、街並みと合わせて見物及び観光に訪れる客が増加する（図3・4）。仙北市は累計観光客数が県内では最も多く、秋田県内で有力な観光地である。冬になると雪の影響から観光客は減少するが、それでも1～3月の客数を見ると仙北市はほかの観光エリアと比較して観光客が多いエリアである（図3）。

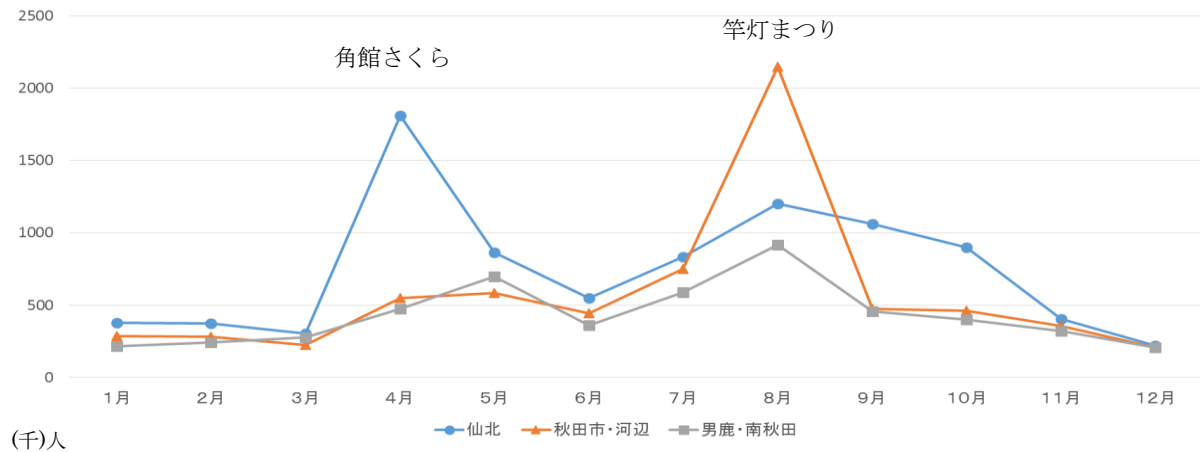


図 3 秋田県内エリア別観光客数

平成 15 年 秋田県観光統計 市町村別観光客数より作成

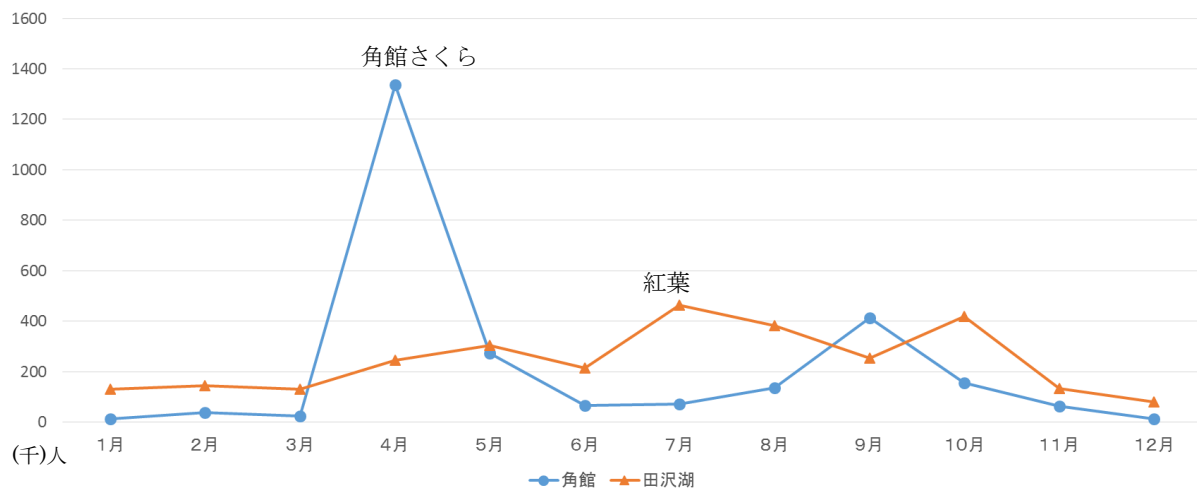


図 4 仙北市年間観光客数

平成 15 年 秋田県観光統計 市町村別観光客より作成

IV-2 アンケートとヒアリングの集計結果

アンケート及びヒアリングは調査期間に 63 件, 宿泊施設でのアンケートでは 35 件のデータを得ることができた。

(1) 観光客の人数年代別と構成

アンケートに回答頂いた観光客の年代は 60 代が最も多かった。その次に 50 代が多く、最も少ないのは 10 代またはそれ以下の人であった (図 5)。

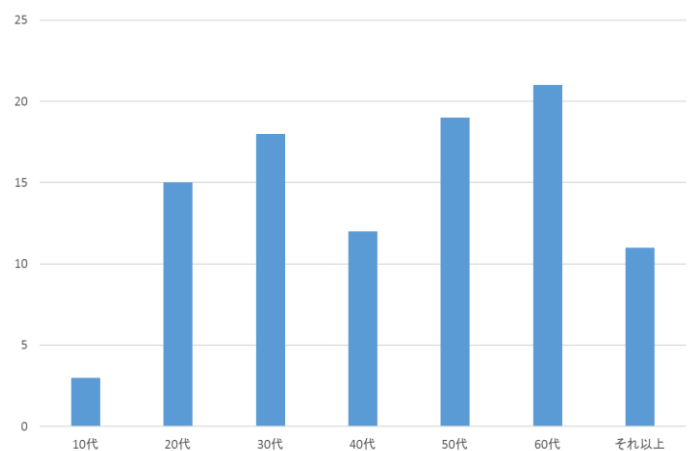


図 5 観光客の年代

旅行の出発地は北海道・東北方面が圧倒的に多い。この中でも岩手県からの観光客が多かつ

た（図6）。次に多かったのは関東からの観光客でありこれは秋田新幹線を利用し東京から直通できる利便性のためだと考えられる。秋田新幹線を利用した観光客の半数が関東からの観光客である（図7）。

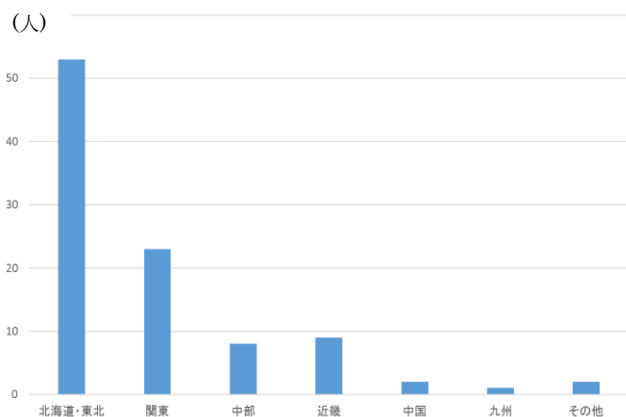


図6 観光客の出発地

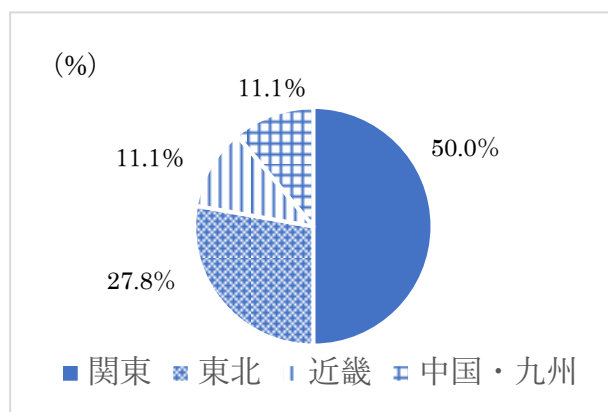


図7 秋田新幹線利用者の出発地

(2) 田沢湖の魅力

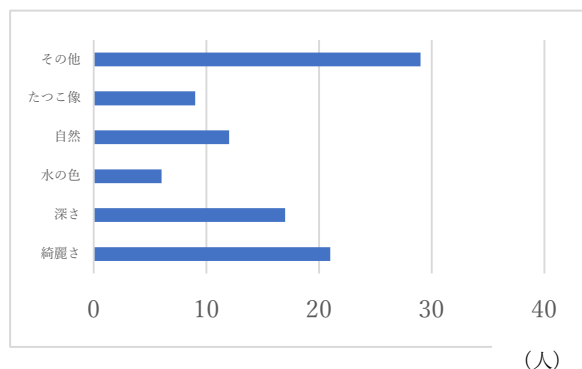


図8 田沢湖の魅力

図8は田沢湖の魅力についての回答である。初めて訪れた人や毎年訪れた人、年代などによって感想は様々であったがその他を除くと最も多かったのが「湖のきれいさ」という回答であった。また日本一深い湖として知られており、「深さ」という回答も見られた。仙北市観光商業部観光課の方に田沢湖の魅力に関して取材したところ、たつ子像の伝説を持った湖ということであったが、観光客の考える魅力とは必ずしも合致していない。

(3) 仙北市及び田沢湖観光の特徴

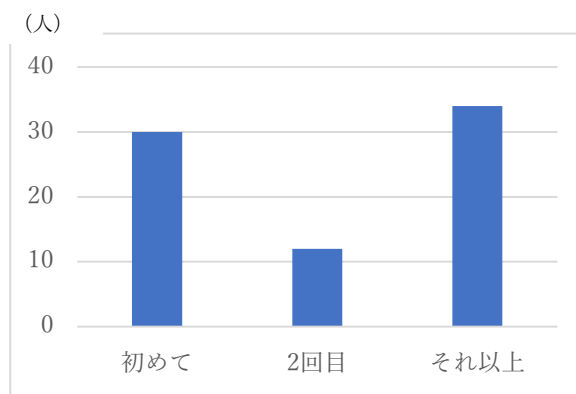


図9 田沢湖の訪問回数

図9は田沢湖の来訪回数についてのヒアリング結果である。初めてや2回目よりも3回以上と回答した人が多くリピーターが多いことがわかる。初めての人の来訪動機は、「以前から来てみたかった」、「乳頭温泉に入りたかった」という回答が多く、3回目以上のリピーターは、毎年来ているという回答が見られた。仙北エリアは旅行するだけでなくそのままそのエリアで長期滞在できる利点がある。仙北は秋田県内で最も宿泊施設が多い。

図10は仙北エリアを観光した人の旅行の規模と仙北エリアでの滞在数をまとめたものである。仙北エリアを観光し1泊の観光予定の方は約半数がそのまま同エリアに宿泊するが、旅行のプランが長くなるにつれ仙北エリアを中間地点として他エリアや他県にも足を伸ばしている。

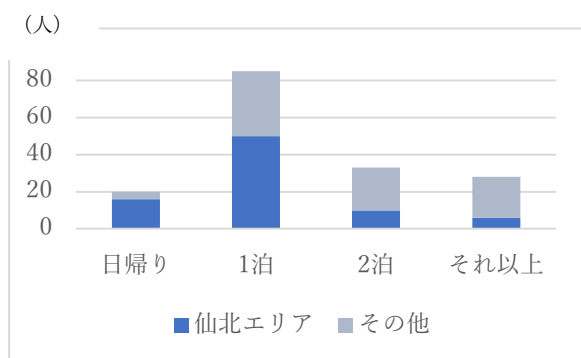


図 10 旅行の規模と仙北エリアの宿泊日数

(4) 田沢湖と角館を訪れた理由

仙北市の観光とそこでの田沢湖の役割について述べる。

まず旅行の目的についてである。田沢湖観光の目的としては温泉、宿泊と答える方が多く田沢湖を見ることが観光の第一目的ではない。湖は見えていない方や通り過ぎただけと回答する方が多かった（図 11）。また田沢湖観光は角館と比較して、ただ訪れるだけではなく遊覧船やサイクリングなど体験できるものが多い。一方角館では武家屋敷を見に来たなどの旅行の目的というよりも旅行に至った経緯を回答する方が多く、プランの一環であったりツアーに含まれていたりしたから訪れたと答えていた（図 12）。

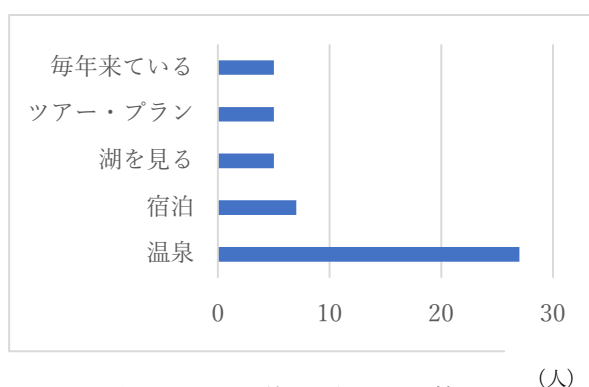


図 11 田沢湖を訪れた目的

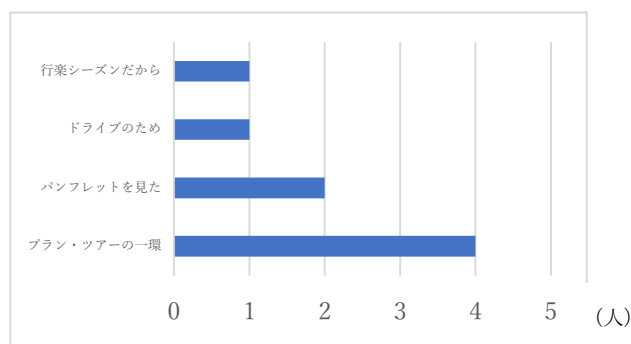


図 12 角館を訪れた目的

(5) 田沢湖への要望

ヒアリングで田沢湖への要望や改善点を訪ねた。観光客の回答は主に以下の通りである。

- ・2次交通の不便さの解消
- ・コンビニエンスストアなどの周辺施設の充実
- ・道路が狭い

III—3 公的機関による田沢湖の見方

行政や公共機関のヒアリングをもとに田沢湖の観光や田沢湖の見方について述べる。秋田県庁秋田県観光文化スポーツ部観光振興課の方の見方は、仙北エリアには一部の時期を除き、1年を通して他エリアよりも多くの観光客がおり、宿泊面についても秋田市にはビジネス客が含まれるのに対して田沢湖エリアに関してはほとんどが観光客ということで県内でもトップクラスの観光地であるというものだ。観光業としては県全体で田沢湖を含む仙北エリアを追う形になっているという。

V. 考察と課題

V-1 田沢湖の観光地形態

多くの人が以前から再来を希望し観光に来たという理由で訪れられる観光地を、再来型観光地とし、観光地であるとともに宿泊にも利用される観光地を滞在型観光地と定義する。

田沢湖の魅力は初めて訪れた人や年代によって感想が様々であった。四季折々や田沢湖の環境を生かした様々な魅力があるため、次は紅葉シーズンに来てみたい、今回とは異なった田

沢湖の魅力を楽しみたいという意見が田沢湖のリピーターの来訪動機であることから、再来型観光地であると言える。このように田沢湖の観光では旅行の内容（温泉、紅葉を見るなど）を明確に決め、何かしらの目的を持って訪れたことがわかる。また宿泊施設が多いことから目的の中に田沢湖周辺でのトレッキングや登山も含まれており、それらをするための宿泊場所としても選ばれ機能していることから滞在型観光地という役割も持っている。

V-2 2次交通問題

観光客の要望やヒアリングでも明らかになった点としては2次交通の問題についてである。観光業を運営する側と観光する側の共通認識として2次交通が不便であることは事実である。しかし実際に新たな2次交通手段を導入して効果が見られるか、常設しても集客効果が低い時期には設置する意味はあるのかという疑問点もある。田沢湖観光協会や秋田県庁にうかがったところ、JRの取り組みと合わせた一時的な臨時バスの導入、集客が多い時期に新たな2次交通の便を臨時で走らせたりと手探りの状態で常設には至っていない。しかし2次交通の不便さは、「前回仙北エリア内で見られなかった場所がある」、「田沢湖や角館にも行きたかったが時間がなかった」という意見が生まれる要因になっており、逆にもう1度来ないと満足できないというリピーターの行動にもつながっている。

2次交通の設置に関して男鹿半島の例がある。男鹿半島エリアでは男鹿市観光協会による「男鹿半島あいのりタクシーなまはげシャトル」という交通手段がある。これは男鹿半島の2次交通アクセスを高める会という地域の方たちが主体となって取り組み、県が活動を援助したというものだ。時刻や料金を地元の方々と話し合い、設置に至ったことを例として観光業者のみならず地域や観光客の意見を主体とした観光への取り組みの姿勢は田沢湖エリアでも参考になる。

V-3 田沢湖の課題

また観光客が考える田沢湖エリアの課題としては、全体的にさびれている感じがする、道路の整備などやPRに問題があるのではないかとということだ。要望に関する欄に書かれた意見のうち約10%が2次交通の不便さについてのものであり決して多い数ではない。最も多かったのは新たな施設の設置やその充実化に関することであり、コンビニエンスストアや工芸品などの出店、遊べる場所が欲しいとの意見があった。

VI. まとめ

今回の調査で田沢湖エリアには様々な年代の観光客が訪れている。また観光の出発地に関しては秋田新幹線の影響で東北のみならず関東からの客も多い。

田沢湖エリアは宿泊施設が多く四季折々の魅力や温泉などの体験型の観光資源が豊富であるため、リピーターが多く再来型観光地であるといえる。また宿泊施設の多さから仙北エリアを観光していなくとも近接エリアや2泊以上の旅行の宿泊地として滞在型の観光地としても楽しめるという2面性がある。

2次交通の設置は観光客の要望であり、秋田県全体の観光業の課題であるが、移動の不便さがリピーターを生み出しているとも考えられる。

謝辞

今回の調査にあたり、仙北市観光商工部観光課、田沢湖観光協会、秋田県庁秋田県観光文化スポーツ部観光振興課、東日本旅客鉄道株式会社秋田支社、各ホテルの皆様、観光客の皆様には調査にご協力いただいた。この場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございました。

引用文献

柴田澄雄 (2015) : 韓国人観光客の特性と秋田への誘致策 27

田沢湖観光協会 HP

http://www.tazawako.org/siraberu_ichiran.html

JR 東日本 HP

<http://www.jreast.co.jp/passenger/>

仙北市 HP

<http://www.city.semboku.akita.jp/>

平成 15 年 秋田県観光統計 市町村別観光客

YAHOO JAPAN トラベル 秋田県の宿泊施設一覧

https://travel.yahoo.co.jp/dhotel/search/area/m/050101/?sc_e=adly_ca_area

田沢湖観光に関するアンケート

信州大学教育学部社会科教育コース2年の奥山加蘭と申します。
現在大学の研究で仙北市の田沢湖観光に関する取り組みと交通の関わりについて調査しております。簡単なアンケートにご協力ください。
回答結果は統計的に処理し、研究目的以外には使用いたしません。

○あなた自身についてご回答をお願いします

・年代を教えてください 10代未満・20代・30代・40代・50代・60代・それ以上

・性別を教えてください 男性・女性

・出発地を教えてください

例) 長野県長野市 () 都道府県 () 市町村
その他 海外など ()

○今回の旅行についてご回答をお願いします

・今回の旅行の目的は何か

観光・仕事・その他 ()

・今回はどなたとお越しになりましたか 家族・友人・おひとり・その他

・どのような方法で来られましたか…

例) 秋田新幹線→バス

・田沢湖を訪れるのは何回目ですか 初めて・2回目・それ以上

2回目以降の方で20年以上前に訪れた方は◎の項目にもご回答をお願いします
◎以前に田沢湖を訪れた際の交通手段・訪れた目的・滞在期間を教えてください

・田沢湖を訪れたきっかけは何ですか

例) 観光パンフレットを参考にした、友人からの勧めなど

・田沢湖エリアを訪れた目的を教えてください

例) 湖を見るため、〇〇温泉に行くため、〇〇ツアーに参加するため など

・今回の旅行(業務)で田沢湖のほかに訪れた場所がありますか…

裏面もご回答をお願いします

・今回の旅行は全体で何日滞在する予定ですか 日帰り・1泊・2泊・それ以上

・田沢湖エリアには何日滞在する予定ですか 日帰り・1泊・2泊・それ以上

・滞在エリアを記入してください 男鹿半島 白神山地 秋田市 鳥海・横手 十和田湖
複数回答可 仙北 角館 その他 ()

・今回訪れて、田沢湖の魅力はどのようなところだと感じましたか
例) 静かな湖畔、日本一深い など

○田沢湖からほかの観光地までの移動手段を教えてください

田沢湖以外の観光地に行った(行く)方のみ記入をお願いします 例) 田沢湖 → 男鹿半島
電車

・田沢湖エリアの観光で何か要望や改善点はありますか

()
特になし

○今年の春に行われた、こまち開通20周年のイベントについてお聞きます

・このイベントを知っていますか

知っていた・全く知らなかった(◎にも回答をお願いします)

◎イベントの内容で知っていたもの、参加したもの見たことがあるものを教えてください

20周年記念セレモニー(駅でのおもてなし)・20周年記念ポスター掲示
20周年記念入場券の発売・記念駅弁の販売・オリジナルグッズ販売
秋田県内の店舗で買い物するとプレゼント(商品券・お米など)がもらえる

・このイベントをどのような方法で知りましたか(知っていた方への回答です)

例) 駅のポスター、旅行会社のプランに含まれていた など

・この他に田沢湖エリアのイベントでご存知のものを教えてください
(過去にあったもの、これから参加するものでも結構です)

・そのイベントをどのような方法で知りましたか

不明な点があれば下記へ問い合わせください。

16e1204g@shinshu-u.ac.jp

ご協力ありがとうございました。